

【発行元】

鹿島建設・橋本店・阿部和工務店JV

県民会館・NPOプラザ複合施設新築工事事務所

〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野2-8-8

TEL : 022-253-7571

暑さに負けないように注意しながら 工事を進めています



▲「北西上空から」2026年5月18日撮影

● 工事概要

工事名 宮城県民会館・NPOプラザ複合施設新築工事

発注者 宮城県

工事場所 宮城県仙台市宮城野区宮城野2-8-8

工期 2025年7月1日～2028年11月30日
※4週8休の対象工事（原則土日閉所）

建物の特徴 宮城県民会館と宮城県民非営利活動プラザの機能を集約するもので、あらゆる表現に対応可能な多目的のグランドホールや快適な鑑賞空間が備えられるなど、完成後には、県内の文化活動の中心的な役割を果たす重要な施設となる。



● 所員紹介

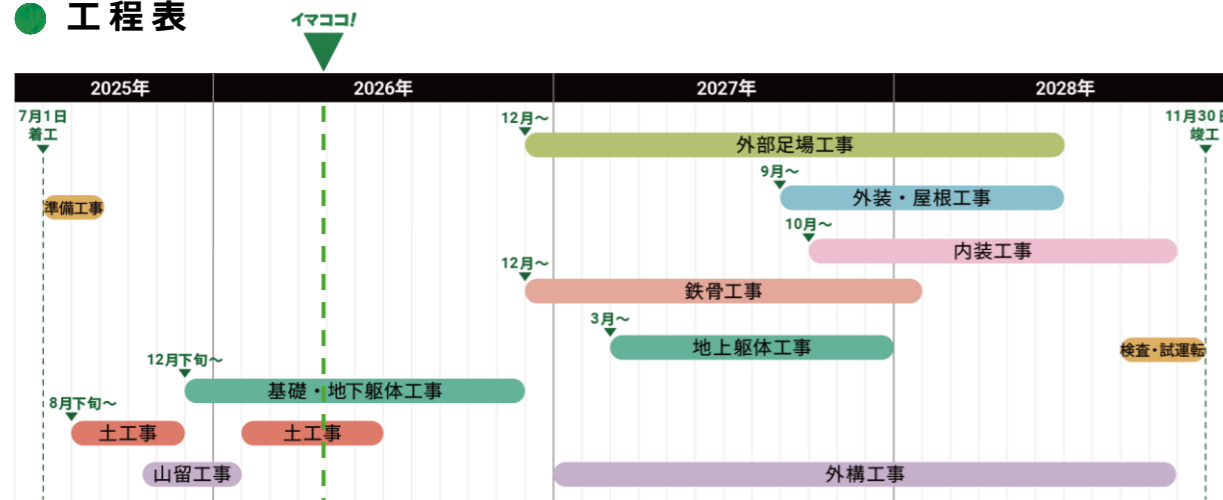
この度、橋本店主任技術者として現場に従事しております、五嶋康則と申します。今まで、『宮城スタジアム』『夢メッセみやぎ』等の県の大規模プロジェクトに従事してまいりました。

今回の工事も県民の皆様にご満足いただける様、努力してまいりますので宜しくお願い致します。

阿部和工務店 主任技術者の相澤敦志と申します。基礎免震構造や音楽ホールなど高度な工事に全力で取り組み、地域に誇れる建物を完成させます。

地域の皆さまへの工事による影響を最小限に努めますので、ご理解とご協力をお願いします。

● 工程表



鹿島建設・橋本店・阿部和工務店
特定建設工事共同企業体

工事課長 五嶋 康則



鹿島建設・橋本店・阿部和工務店
特定建設工事共同企業体

工事課長 相澤 敦志





多くの方に現場へお越しいただきました！

昨年7月の着工以来、多くの方々に現場へお越しいただいております。本年3月には宮城県村井知事による現場視察や、仮囲いアートお披露目会を開催いたしました。こうした取り組みを通じて、多くの方に現場に足を運んでいただき、工事の様子を身近に感じていただく機会となりました。今後も、地域住民の皆さまや児童・学生の方々をはじめ、幅広い世代に向けた見学会等を実施していく予定です。



2026年3月26日には宮城県村井知事にお越しいただきました。工事の進捗状況や取り組みについてご説明するとともに、実際に現場をご覧いただきました。

現場南西部の仮囲いに、菅野眞二さん（ペンギンズアート工房所属）の作品を展示しています。2026年3月27日には、仮囲いアートお披露目会を開催いたしました。迫力のあるダイナミックな作品をぜひご覧ください。



パワフルなクレーンが活躍しています！

現場では、多くの重機が毎日活躍しています。現在、複数のクレーンをはじめとした重機が、資材を必要な場所へ運ぶため日々稼働しています。中でも一番大きなクレーンは、最大30トンもの重さを持ち上げることができ、これは大型バス約7台分に相当します。クレーンには、宮城県の名産をモチーフにした名前が付けられており、現場のちょっとした楽しみになっています。今後も工事が進むにつれて、クレーンの台数が増えていきます。新しく加わるクレーンの名前にも、ぜひご注目ください。



▲ズンダム



▲ササカマックス



▲現場では、クレーンの名前の由来となった宮城の名産を紹介する看板を掲示しています。

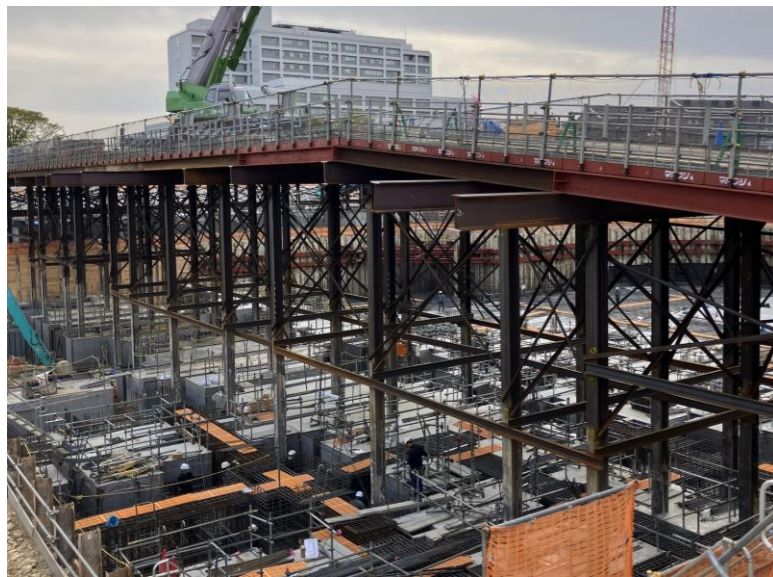


工事進捗状況のお知らせ

こうだい

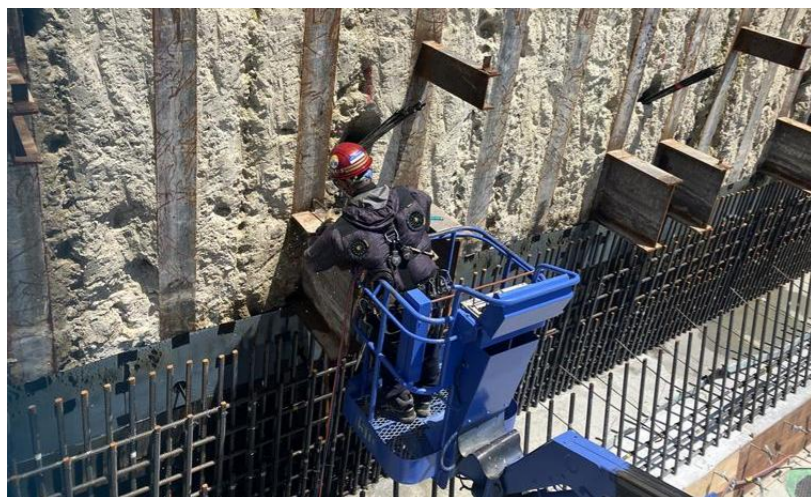
「構台」の組み立てが完了しました！

構台は、重機やトラックが安全に通行できるようにした仮設の床・通路のような設備です。工事場所が広く、現場内を行き来する車両や資材が多いため、作業スペースを確保する目的で設置しました。現在は、この構台の上にクレーンを設置し、鉄筋や資材の運搬・設置作業を行っています。



アースアンカーを撤去しています！

これまで工事中の安全確保のために使用していたアースアンカーの撤去作業を行います。アースアンカーは、工事の間に地盤や構造物を一時的に支えるため、地中に埋設する設備で、周囲の構造が安定すると役割を終えます。工事の進行にあわせて撤去します。



こうせいかたわく

鋼製型枠工事も最終段階に入っています！

昨年12月から始まった鋼製型枠工事も、終了の時期を迎えました。鋼製型枠とは、コンクリートの形をつくるための鉄でできた型（うつわ）で、土工事を行いながら据え付けることができます。足元が整理された状態で作業が進むため、安全できれいに工事を行うことができます。この工程の完了後は、建物を支える基礎部分に鉄筋を組み立てる基礎配筋工事へと進んでいきます。



鉄筋工事を進めています！

鋼製型枠工事が完了した部分から、床部分のスラブ配筋工事が進んでいます。今回の作業では、あらかじめ地上で鉄筋を組み立てる「地組（じぐみ）」を行い、その後クレーンで吊り上げて所定の位置へ据え付けています。地組により安定した足場で作業できるため、高所作業を減らし安全性を高めることができます。また、地上で形状や結束状況を確認しながら組み立てることで、精度の高い施工が可能となり品質の向上にもつながります。



今後の予定

建物の要となる免震設備の設置工事が始まります！

本建物では、4種類・合計156基もの免震装置を建物の下部全体に設置する、非常に大規模な計画となっています。建物の全面にこれほど多くの免震装置を配置する例は珍しく、国内でもあまり見られない特徴的な構造です。複数の免震・制振装置を組み合わせることで、それぞれの特長を生かし、地震の揺れを効果的にやわらげます。この仕組みにより、地震時でも建物の安全性を高く保ち、安心して使い続けられる建物を目指しています。



▲ 免震装置

Q 免震構造って、どんな仕組みなの？

A 地震の揺れを建物に直接伝えにくくする構造です。建物の下に設けた装置で地面の揺れを受け止めてやわらげます。その結果、建物への被害を抑えることができます。地震後もすぐ使い続ける必要がある建物に用いられることが多くなっています。

Q なぜいろいろな種類の免震装置を使うの？

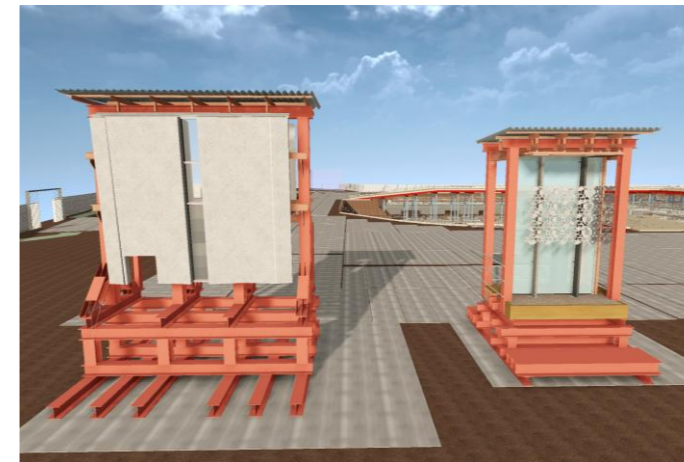
A 免震装置には、建物を支えるものや揺れを抑えるものなど、それぞれ役割の違いがあります。各装置が得意な働きを分担し、チームのように連携して機能しています。その結果、複数の装置が組み合わせることで、建物全体の安全性を高めています。



▲ 矢印の部分に免震装置を設置します。

モックアップの製作が始まります！

完成後の形や納まりを事前に確認するため、モックアップ工事をを行います。モックアップとは、実際に建てる建物の一部を、本物と同じ材料・同じ大きさで作り、仕上がりを確認するための試作品です。実際の形を見ることで、関係者間で完成イメージを共有することができます。「思っていたのと違う」といった認識のずれを防ぐことができます。また、図面だけでは気づきにくい見た目や納まりの不具合・不整合を、事前に確認できる点も大きなメリットです。



▲ モックアップ完成イメージ図（左：外装、右：各所ホール内装）

お知らせ

県民会館・NPOプラザ複合施設新築工事に関するWEBサイトを公開しています。

アクセスはこちらから
<https://www.miyagi-kenminkaikan-build.jp/>



編集後記

春の陽気が心地よい5月となりました。本号で工事だよりは2回目の発行となります。少しずつ姿を変えていく現場の様子を、皆さまに楽しみながらご覧いただければ幸いです。今後も工事の進捗や現場の取り組みを分かりやすくお伝えしてまいりますので、ぜひ次号もお楽しみにしてください。（和）

